

「音魂祭」 練習が解禁



試験開けの9月12日、打瀬中学校で音魂祭の練習が始まりました。ベイタウンニュースでは毎年この時期の号はこのイベントの熱い様子を伝えてきましたが、今回は少し冷静に(?)、まだ解禁されて間もないクラスの練習の様子取材してみました。終盤に見せる熱いクラス同士の闘いの前にこんなドラマがあったとは。【松村】

男子が来ない

音魂祭の練習が「解禁」になった直後のある3年生のクラス。他のクラスと同じようにパートごとの練習で男子だけが練習していました。しかし人数が少し少ないように思います。あとで聞いてみると何人かの男子が帰ってしまったとのこと。

本番直前の熱い闘いをイメージしていた記者には、「そんなことあるの?」という体験ですが、この時期、音魂祭の練習はあくまで「解禁」。つまり「やってもいい」ということで判断はクラスに任せられます。練習時間に上限はあっても下限はないので、実際この時期では3年生が昼休みや放課後に練習しているときにも、1、2年生は外で遊んだり、部活の練習に励んでいます。義務ではないので帰ってもいいだろうと考える生徒がいても当然です。

しかし例年、3年生はどのクラスも最後にはクラス全員が一丸となって優勝を目指します。そしてそこに至るには必ず担任の先生やクラス優勝にかける女子の熱意との葛藤があります。放課後の練習時間に「こんなので卒業していいの?」と涙で訴える女子と、うなだれて聞く男子。こんな光景を経てクラスがまとまります。音魂祭は音楽のコンクールですが、順位以外の大切なものを育てる活動でもあるようです。

合唱コンクールなのに「筋トレ」?

まだ全体合唱ではなく、パートごとに練習をしている時期では同じ教室の中で別のパートの練習はできません。そんなときあ

る3年生のクラスでは女声が練習している教室の奥で男子が集まって「筋トレ」をやっていました。それも思い思いにではなく、実行委員やパートリーダーの号令に合わせて、男子全員が床に横になり、足をあげて主に腹筋を鍛える運動です。

あとで男子に聞いてみるとこのトレーニングは声量を鍛えるのと、高い音が下から

3年連続 指揮専門 3D 向井田昂奎 (こうき) 君

昨年の音魂祭で会場が一時どよめくシーンがあった。2年D組の全員がステージに上がり、指揮者が登壇した時だ。上下黒づくめで異彩を放つ精悍なスタイル。明らかに考えられた演出だった。向井田昂奎君。1年生の時からの指揮のスペシャリストだ。彼は3年生となった今年も勿論指揮者を希望した。今年度は校歌の指揮も1年間行う。

音楽は小さい時から好きだったという向井田君。中学生になるまではヴァイオリンを習っていた。指揮に目覚めたのは小学6年生の時。TVで見るオーケストラの指揮者に憧れ、学校でタクトを振ってみてその魅力に取り憑かれたのだそう。

パフォーマンスだけではない。指揮者として専門的な訓練を受けている訳ではないが、常にメモがびっしり書き込まれた楽譜を持ち、曲のことを考えている。

「将来は指揮者志望?」と聞くと、「今は部活の剣道。やりたいことが沢山あるので決められないけれど、音楽とはずっと付き

ないようにするためとのことでした。「誰が考えたの?」と聞くと「先生」とのこと。このクラスでは2年生のときからやっているそうです。

このクラスの担任は理科の先生。音楽の先生ではないのですが、理系の先生らしく合理的なトレーニングを考えたのかも知れません。実際このクラスの男子は発声がとてもよかった。

合唱のコンクールだから音楽の先生が担任するクラスが有利とは限りません。中学生最後の年を優勝で飾りたいのはどの3年生の先生も同じ。2年がかりの闘いは生徒だけでなく先生も同じのようです。

リーダーは女子がいい?

クラスでの練習を見ているとどちらかというと女子が引っ張るケースが多いように思います。最初は音楽のイベントだからかなと思いましたが、どうやらそれだけではないようです。

あるクラスでは女子のリーダーが「○○もっと声を出して!」と屈強そうな男子を指さして指示をしていました。

男子同士ならこんな注意をされると自分が悪いと分かっているもついで「ムッ」とすることがあります。ところが女子から注意されると意外に角が立たず、照れながらも従います。こういう様子を見るとクラスも社会の縮図なんだと感じました。

こういうクラスに限って発声もよくできていて、合唱のバランスもいいようです。

合っていきたいです」。夢がいっぱいだった中学生の頃を思い出した。

音魂祭には活躍できる舞台がいくつもある。クラス全員の合唱はもちろんだが、実行委員や委員長に選ばれること。そしてピアノを弾く子が多い打瀬中ではクラスのピアニストに選ばれることが最難関だそう。だが今年はこれまで脇役と見られていた指揮者にも注目が集まっている。



最近ブラックでコーヒーをという向井田君。コロラドにて。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

海浜打瀬小学校 6年 渡辺真桜

No.5



海浜打瀬小学校編

私たちの先輩、持田選手

海浜打瀬小学校では8月5日から行われたリオデジャネイロオリンピックに向けて、運営委員を中心に全校で取り組んだことがあります。

8月10日に行われた競泳女子800メートルリレーの選手の持田早智さんは海浜打

瀬小学校、打瀬中学校の出身です。私が1年生の時の6年生なので、大変お世話になりました。だから、今度は、持田選手ががんばるように、3つの思いを届けることにしました。

一つ目は、各クラス全員からの温かい応援メッセージです。読むのが大変だと思いましたが、これなら一人一人の思いがはっきり伝わると思いました。

二つ目は、海浜打瀬伝統のチャンチャンコールです。チャンチャンコールは応援歌のようなものです。とくに運動会や陸上大会などで行います。私にとってチャンチャンコールは海浜打瀬小学校のみながひとつになるための素敵なもの



のです。持田選手に直接見ていただくことはできませんでしたが、海浜打瀬小学校の声はしっかりと届いていたと思います。

三つ目は、けい示委員と運営委員、先生方で作った横断幕です。海浜打瀬小学校のキャラクター「なみべい」とともに、メッセージを心を込めて書きました。

そして、8月10日の日。応援が届いたのか、予選4位になり、決勝に進みました。決勝は8位でした。4名の選手達は、テレビを見た時には、くやしそうでしたが、私は持田選手をはじめ、4名の選手を心から尊敬しています。これらもって記録がのびると信じています。

次は東京オリンピックです。私たちは今、「国際理解」をテーマにした学習をしています。東京オリンピックは外国の方々に日本のおもてなしができるように今から準備をしています。持田選手の活躍で4年後の東京オリンピックが楽しみになりました。持田先輩ありがとうございました。



ニュース創刊の頃の話 (4) 初めて打瀬中に入った

(前号からのつづき) 放課後で生徒が帰り、薄暗さを感じる打瀬中に着くと、待っていたのは溜打瀬小校長と渡辺打瀬中校長、そして打瀬中教頭の齋藤先生の3人でした。

渡辺先生はこの年打瀬中に赴任したばかりでしたが、溜先生とは教育委員会に同時期に在籍したことがあり、旧知の間柄でした。地域に開かれた学校を唱えるお二人は保守王国の千葉教育界では異色の存在でしたが、もちろんそんなことは我々は全く知りませんでした。

子どもを持って学校とかかわるのは初めてという我々にとって、打瀬小はともかく中学校は未知の場で、どちらかという地域一般住民には閉ざされた世界という先入観がありました。

そんな中でちょっとした事件が起きました。我々のうちの1人、金が齋藤教頭となにやら議論を始めたのです。

実は初対面だと思っていた2人はそれ以前にも電話で接触したことがありました。そのときの英語が堪能で国際感覚のある齋藤先生の中学校教頭らしくない受け答えが金には気に障っていたようでした。一方学校は地域のものと住民意識を振りかざす

の態度も齋藤先生には悪い印象を与えていたようです。

言い争いに近いような2人の議論でしたが、これは当時の学校と地域の関係をよく表した事件でした。学校や子どものことを伝え地域と学校を身近なものにしたいと思うことは我々も打瀬中に集まった3人の先生も同じでしたが、お互いが背景も知らずに話し始めるとこんなことが起きるよう

です。もちろん議論は最年長の溜先生がすぐに収め、さっそく本題だったベイタウンニュースに学校からの記事を毎月掲載する案の検討が始まりました。

ここで問題になったのが誰が記事を書くかということでした。当時の我々の感覚としては、学校の運営方針や実情を校長先生自身の言葉で語ってもらえるような、少し大上段に構えたような記事を望んでいましたが、打瀬小では同じ主旨で溜先生が毎月、ベイタウンの全戸にPICDという冊子を発行していました(この意味では打瀬小は我々ベイタウンニュースの遙か先を行っていました)。そのため打瀬小では穴倉教頭が学校での知られていない出来事を地域に

紹介する記事を書くことにしました。

一方打瀬中は少し事情が違っていました。教科センター方式という最先端の授業方式、制服も校則もない自由な雰囲気。打瀬中は当時、毎月3000人も先生方が全国から視察に来る有名校でしたが、立地する打瀬3丁目は建物は中学校だけ。ミラリオも海浜打瀬小もまだない時期で街の中心部から離れた打瀬中は地域への浸透度は低く、そのことが学校を地域に開かれた施設にと考える渡辺校長には「遅れ」と写っていたようでした。

そこで打瀬中からの記事は毎月渡辺校長先生が自分で筆を振るうことになり「学校から地域へ」というページがベイタウンニュースに誕生することになりました。学校発信の記事はそれから数年間、形を変え内容を変えてつづきます。そしてこの時の学校とニュースの出会いが、打瀬中の多目的ホールを使った休日の住民コンサートの開催や、現在もつづく「EX講座」の誕生へとつながりました。

小さな新聞が大きな出来事につながる企画でしたが、もちろんこのときの我々3人にはそんなことは知る由もなく、なんとか記事が毎月埋まることになったという安心感で、当時プレナにあった焼き鳥屋さんへ。考えて見れば外のお店で3人で飲むのは初めてのことでした。(つづく) 【松村】

館長さんはこんな人 打瀬公民館村山館長インタビュー

私たちが折りに触れて利用している打瀬公民館。今年は夏休み中の高校生対象の学習室開放をはじめ、いままでとは違う感じがしています。その流れを進めている村山哲（むらやまさとし）館長さんはどんな方なのでしょう。【小原】

今年の4月に着任される前は校長先生だったのですか。

「昨年度末まで、3年間幕張東小学校の校長でした。実はもともと中学校の社会の教員で、初任者研修の指導員もしました。山王中学校の教頭を経て、いきなり小学校の校長に着いたときには15歳から6歳というギャップの大きさに戸惑いましたが、先生方のアドバイスを聞きながら頑張っ、今は小学校の子どもの指導は自分に向いていると思っています。」

校長という仕事は校内だけではなく、育成委員会や自治会など地域の様々な関係者との連携が大切になります。管理職として人のつながりを図る仕事も次第におもしろくなりました。公民館の仕事もその経験を生かして社会教育に携わって行けたら、と考えて選択しました。そしてこの打瀬公民館に赴任したのです」

公民館長の仕事はどのようなことですか。

「施設の管理、運営です。例えばコア全体の防火責任者として公民館だけでなく図書館や子供ルームなどコア全体の安全も責任のひとつ。ここは地域の住民が誇りをもって協力し作り上げた複合施設というバックボーンがあり、コアという愛称で活用され

ている点など他の公民館と異なる点は様々あります。その実態を踏まえて良い所は伸ばし、足りないところは変えていこうと考えています。」

公民館には『集う、学ぶ、つながる』という3つの役割があります。その中でつながるという点をもっと広げる必要があったと感じました。そこで掲示板を作って公民館講座の様子を紹介するなど情報発信の場を作りました。また『打瀬公民館サークル連絡協議会』が立ち上がったのでお互い情報交換できるようなシステムを作り、信頼関係を作っていきたいと考えています。コアフェスタも公民館の協賛にし、時期も一カ月早くなるなど、変化が出てきています。よりまとまりのあるしっかりした組織が公民館にできるようにしたいのです」

夏休みには高校生の自習室を設けていましたね。

「アトリウムの賑やかな環境の中で受験勉強に熱心に取り組んでいる高校生の様子を見て、サポートしたいと思い提案しました。実際に場所、安全、マナー、スケジュールなど高校生の意見を聞きながら約束事をまとめて実施したのですが、利用者はまだ少なかったです。また冬休みに実践しよう

と思っています」
任期は、え、あと半年なのですか。

「この後半で来年度の計画の骨子を検討していきます。サークル活動は活発ですが、主催事業の内容と数が弱い点が来年度への課題です。小委員会を設け、住民の方々の自主的な運営の核になってくれたら良いと思います。」

また、環境も整備していきたいです。環境委員会の方が努力して下さっています。草刈りや大掃除など、利用者や地域の方々に支えていただくぐらい、信頼関係を築いていけたらいいですね。平常は館内の清掃は一人の方が毎日するだけなので、私は窓磨きをすることもあります」

もしかしたら『中学校の時の教え子です』という方もいるかもしれませんね。皆さん、コアを活用しましょう。そして館長さんを見かけたら是非話しかけてみましょう。つながりの始まりです。



ウィンターコンサート 出場者募集のお知らせ

ベイトウンコア恒例、12月のコンサート出場者を募集しています。

日時:12月18日(日)11時~17時予定

場所:ベイトウン・コア音楽ホール

内容:ピアノ、ヴァイオリン他の楽器、声楽、合唱などソロ、アンサンブルでも。

申込先:阿曾 TEL/FAX211-0273

定員になり次第締め切りとさせていただきます。楽しいコンサートです。ご応募お待ちしております。

第14回コーラスの集い

日時:10月23日(日)14:00開演(13:30開場)

場所:ベイトウン・コア 音楽ホール

入場無料

指揮 佐藤 柳

女性コーラス瀬音

混声コーラスG A F U

男声コーラス

瀬音・G A F U

ゲスト演奏

ピアノ伴奏 永木真紀

クラシック小品集 鈴木憲夫編曲

心の四季 高田三郎作曲 吉野弘作詞

ふるさとの四季 源田俊一郎編曲

威風堂々 他

チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲

ニ長調 op35 第一楽章

秋の一日、皆様のご来場心よりお待ちしております。

お問い合わせ:斎藤 TEL:043-213-0309

【開催間近!】リレー・フォー・ライフ・ジャパंचば

がん患者支援のチャリティ活動「リレー・フォー・ライフ」が開催されます。当日は子ども向けのイベントやコンサート、「乳がん検診のすすめ」と題した専門医による講演など、遊びあり、音楽あり、学びありの24時間です。

いままさにがんと向き合っている方もそうでない方もぜひご家族そろってふらっと立ち寄ってみてください。

日時:2016年10月8日(土)13:00~9日(日)13:00

会場:県立幕張海浜公園Bブロック

※申込不要、詳しいプログラムについてはリレー・フォー・ライフ・ジャパंचば2016ホームページをご覧ください。

<http://relayforlife.jp/chiba/program/>

第2回 親子デザインワークショップ

~これからのベイトウン~

「ここが問題 私たちなら、こう考える」

参加者募集:私たちの街ベイトウンの問題点と解決策を探るデザインルームを親子一緒に楽しみませんか。

日時:2016年10月22日(土)13:30~16:00(開場13:00)

会場:幕張ベイトウン地域連携センター

参加賞:OYATU 飲み物飲み放題 優秀賞あります。

見慣れているまちにひそむ問題点を解くことが必要なんだ。

みんなの答で、これからのベイトウンが変わるので、仲間と一緒に考えよう。

お問合せ・お申し込み先:幕張ベイトウン協議会 景観委員会

bt-machi@freeml.com

TEL:080-5485-9080

わらべうた・絵本・お話を楽しむ1週間です。
参加費は無料です。当日直接会場にお越し下さい。
問い合わせ先：打瀬分館 TEL:272-4646

① 子ども室 えほんのじかん (絵本の読み聞かせ)
日時：10月25日(火)・26日(水)・27日(木)・28日(金)
① AM10:30～、② AM11:30～
対象：幼児 定員：各10人
場所：打瀬分館子ども室

② わらべうたであそぼう
日時：10月29日(土)
① AM10:00～10:20 対象：0歳児
② AM10:30～10:50 対象：1～2歳児
③ AM11:00～11:20 対象：3歳～小学生
対象：0歳児～幼児と保護者 定員：各20組
場所：打瀬公民館講習室

③ 英語で楽しむ親子おはなし会
日時：10月29日(土) PM1:30～2:00
対象：4歳児～小学生と保護者 定員：40人
場所：打瀬公民館講習室

④ 語りと絵本の会
日時：10月29日(土) PM2:30～3:00
対象：小学生～一般 定員：40人
場所：打瀬公民館講習室

10月のコア・イベント

わくわくおはなし会 10月のおはなし会

10月の常設おはなし会はコア・フェスタと常設おはなし会の2回です。
日時：10月8日 第2土曜日(コア・フェスタ) 午前10:30から
場所：ベイタウン・コア工芸室

日時：10月15日 第3土曜日(常設おはなし会) 午前10:30から
場所：ベイタウン・コア講習室
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どもも来てね。
ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>
お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

10月22日(土) 寺子屋工作ランド

「木の実ぶえ(このみぶえ)」
日時：10月22日 第4土曜日 午前9:30～11:30
場所：ベイタウン・コア工芸室
シイの実(ドングリ)、ツバキの実、トチの実、木の实の中身をくりぬいて空っぽにすると、よく鳴る笛(ふえ)ができます。
持ってくるもの：小刀、えんぴつ、セロテープなど
参加費：50円(保険料)

第154回ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

日時：10月29日(土) 午後5:45～8:45(第5土曜日夜間開催です)
場所：ベイタウン・コア音楽ホール
フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。
最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：10月23日(日)
申込先：TEL/FAX：377-0020 (秋場)
E-mail：akibakrym@yahoo.co.jp

打瀬ぱくぱくキッチンクラブ ～肉じゃがを作ろう～

日時：平成28年11月5日(土) 9:30～13:00頃
会場：打瀬公民館 調理室
対象：小学3年生～6年生 費用：500円
用意するもの：エプロン、三角巾、ハンドタオル、布きん、上履き
申込みは、10月20日(木)から、費用を添えて直接打瀬公民館(Tel:296-5100)まで。
食生活改善推進員(ヘルスマイト)がお手伝いします。



くつろぎの個室空間

地鶏と鮮魚
しゃぶしゃぶ

千の庭

・阿波尾鶏 地鶏
・刺身 八十八鯛 鮮魚

千の庭は、ベイタウンの活動・イベント・学校行事・スポーツ活動を応援いたします。

必要に応じて各種賞品として当社商品券等の協賛を検討いたしますのでご連絡ください。

11月30日までベイタウンご優待を実施しております。

要予約 お刺身7種盛り合わせ 1980円 ▶ 980円(後援)

※下記クーポンをご持参ください。

ご来店のお子様 ソフトドリンク 飲み放題 無料!

しゃぶしゃぶ食べ放題も実施しております。
※平日は前日までのご予約にて承ります。(金曜日は除く)

個室19室

宴会最大73名様まで承ります

写真は全てイメージです。

千の庭 海浜幕張店
TEL.043-212-8080

営業時間
日～木・土 / 16:00～翌1:00
金・祝前日 / 16:00～翌3:00

今だけの
ベイタウンご優待クーポン 実施期間 11月30日まで

要予約 お刺身7種盛り合わせ 1980円 ▶ 980円(後援)

●ご着席の際にクーポン券をご提示ください。(お会計後精算は致しかねます)
●他のサービス特典との併用はできません。
●当サービスは千の庭海浜幕張店のみにご利用いただけます。